

- 問1 3世紀の中国の歴史書において、邪馬台国の女王卑弥呼が30ほどの小国を従え、倭の王として交流したことが記されている当時の中国の王朝名を答えなさい。 (2023年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 隋 | 2. 秦 | 3. 魏 | 4. 漢 |
|------|------|------|------|
- 問2 中国の歴史書である『魏志倭人伝』は、日本の古代社会を知る上で非常に重要な史料です。この書物において、日本の「道路」に関する最初の記録が残されている背景を考慮し、当時の社会状況の説明として適切なものはどれですか。 (2022年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 律令国家の仕組みが整い、地方と都を結ぶために全国規模で「駅制」という道路網が完成した様子が記されている。 | 2. 墾田永年私財法によって開墾された土地へ農民が移動するため、政府が初めて本格的な道路建設に着手したことが記されている。 | 3. 卑弥呼が邪馬台国の女王として約30の国を統治しており、当時の日本の様子や交通に関する初期の状況が記されている。 | 4. 鑑真が仏教を広めるために日本を訪れた際、僧侶が移動するための専用の道路が全国に整備されたことが記されている。 |
|---|---|--|---|
- 問3 弥生時代の集落で見られる、地面を円形や方形に掘り下げて床を作り、そこに数本の柱を立てて屋根をかけた、当時の人々が生活していた一般的な住居形式を何といいますか。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------|---------|---------|
| 1. 寝殿造 | 2. たて穴住居 | 3. 合掌造り | 4. 高床倉庫 |
|--------|----------|---------|---------|
- 問4 弥生時代の社会における銅鐸の特徴や役割について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2023年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 大陸との交易を円滑に進めるために、重さに応じた価値を持つ貨幣として使われた | 2. 次第に大型化し、表面には当時の生活や自然を反映した装飾が施されるようになった | 3. 各個人の家の中に置かれ、日常的に家族の健康を祈るための仏具として使われた | 4. 鉄器よりも硬度が高いという性質を活かし、木を伐採するための工具として普及した |
|--|---|---|---|
- 問5 福岡県の志賀島で発見された金印には、正方形の印面に「漢委奴国王」の五文字が刻まれており、つまみの部分は蛇を模した形状（蛇鈕）となっています。この金印を奴国の王が後漢の皇帝から授かった政治的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 高山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 卑弥呼が「親魏倭王」の称号を得るための事前交渉として、大陸との友好関係を築くため | 2. 中国の皇帝から地位を認められることで、自らの権威を高めて周辺の勢力を抑えようとしたため | 3. 大陸から仏教を公式に導入するための許可を得て、国内の宗教的な統一を図ろうとしたため | 4. モンゴル民族の侵攻に対抗するため、大陸の軍隊に日本列島までの援軍を要請したため |
|---|--|--|--|
- 問6 邪馬台国の女王である卑弥呼が、中国の魏（ぎ）へ使いを送り、皇帝から「親魏倭王」の称号や金印、多数の銅鏡を授かった政治的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 魏の強力な軍勢力を日本に直接呼び寄せ、九州地方の反乱勢力を武力で鎮圧するため | 2. 魏と共同で朝鮮半島の高句麗を攻撃し、領土を拡大するための軍事同盟を結ぶため | 3. 魏の後ろ盾を得ることで自らの権威を高め、国内の統治や他国との関係を有利に進めるため | 4. 魏の優れた律令制度をそのまま日本に導入し、中央集権国家をいち早く確立するため |
|---|--|--|---|
- 問7 長崎県壱岐市の「原の辻遺跡」は、大規模な環濠集落を特徴とし、中国の歴史書に登場する「一支国（いきこく）」の王都とされています。この一支国も含まれる当時の倭国の様子や、女王卑弥呼が中国へ使者を送った出来事について詳しく記されている書物はどれですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|------------|------------|------------|
| 1. 『後漢書』東夷伝 | 2. 『宋書』倭国伝 | 3. 『漢書』地理志 | 4. 『魏志』倭人伝 |
|-------------|------------|------------|------------|
- 問8 倭の奴国の王が、中国の後漢から金印を授かった紀元1世紀（西暦57年）ごろの世界情勢について、ヨーロッパや地中海周辺の動きを説明したものとして正しいものはどれですか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 地中海を囲む広大な地域を統一したローマ帝国が成立していた | 2. ギリシャ人が地中海沿岸の各地にポリス（都市国家）を建設し始めた | 3. アレクサンドロス大王が東方遠征を行い、ヘレニズム文化が広がっていた | 4. 西ローマ帝国が滅亡し、ゲルマン人の大移動が本格化していた |
|---------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|
- 問9 3世紀頃の倭国において、邪馬台国を中心に30ほどの国々をまとめ、中国の魏から「親魏倭王」の称号や金印を授けられた人物は誰ですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|---------|
| 1. 推古天皇 | 2. 北条政子 | 3. 卑弥呼 | 4. 持統天皇 |
|---------|---------|--------|---------|
- 問10 「漢書」地理志や「魏志」倭人伝などの中国の歴史書には、倭の女王である卑弥呼や、それ以前の倭の小国の王が、中国の皇帝に使者を送ったことが記されています。このような古代の日中外交において、日本の支配者が中国の皇帝から称号を授けようとした主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 中国国内でのキリスト教の布教を許可してもらい、宗教的な指導者としての地位を確立するため。 | 2. 中国の強力な武力や権威を背景に、日本国内の他の勢力に対して自らの支配の正当性を示すため。 | 3. 中国の皇帝と対等な立場で軍事同盟を結び、高句麗や新羅を共同で攻撃するための約束を取り付けるため。 | 4. 中国の皇帝から直接的に領土を譲り受け、日本列島を中国の行政区画の一部として統治するため。 |
|---|---|---|---|
- 問11 奈良県にある唐古・鍵遺跡のような、周囲を深い濠（ほり）で囲んだ「環濠集落」からは、高床の建物が描かれた土器などが出土しています。このように、集落の周りに濠を巡らせた主な目的と、この時代の近畿地方において主に祭祀（お祭り）の道具として使われていた青銅器の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|----------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 1. 目的：外部からの敵の侵入を防ぐため / 青銅器：銅鐸 | 2. 目的：水害から住居を守るため / 青銅器：銅鐸 | 3. 目的：外部からの敵の侵入を防ぐため / 青銅器：土偶 | 4. 目的：水害から住居を守るため / 青銅器：はにわ |
|-------------------------------|----------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
- 問12 弥生時代に大陸から伝来した金属器に関する統計資料において、武器や工具として実用的に使われたものとは別に、主に祭祀や儀式の道具として分類される金属器があります。銅鐸や銅鏡などが代表例である、この金属器の名称として適切なものを選びなさい。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|-------|
| 1. 打製石器 | 2. 須恵器 | 3. 青銅器 | 4. 鉄器 |
|---------|--------|--------|-------|
- 問13 邪馬台国の女王である卑弥呼が、当時の中国（魏）に使者を送り、金印や銅鏡を授かった政治的な背景として最も適切なものはどれか。 (2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|---|
| 1. 大陸の先進的な稲作技術を独占し、食料の生産力を飛躍的に向上させるため | 2. 日本列島を統一するために、魏の軍隊を日本へ招き入れようとしたため | 3. 仏教を日本に導入するための経典や仏像を、魏の皇帝に要求するため | 4. 中国の強力な王朝との結びつきを示すことで、国内における自らの権威を高めるため |
|---------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 魏	3世紀前半の日本（倭）の様子を伝える『魏志倭人伝』は、中国の三国時代における王朝の一つである「魏」の歴史書です。この書物には、邪馬台国の卑弥呼が魏に使いを送り、皇帝から「親魏倭王」の称号や金印、銅鏡などを授かったことが詳しく記されています。選択肢にある漢は紀元前後の、隋は6世紀末からの王朝であり、時代が異なります。
問2	答え 3 卑弥呼が邪馬台国の女王として約30の国を統治しており、当時の日本の様子や交通に関する初期の状況が記されている。	日本の道路についての最初の文字記録は、3世紀の『魏志倭人伝』に見られます。この時期は卑弥呼が邪馬台国で約30の国を従えていた時代であり、中国との外交や国内の統治に関連して、当時の日本の様子が記述されました。律令国家による体系的な道路整備（駅制）は7世紀後半から8世紀にかけてのことであり、卑弥呼の時代よりも後の出来事です。
問3	答え 2 たて穴住居	弥生時代の集落において、人々の生活の場として最も一般的だったのがこの住居形式です。地面を掘り下げることによって断熱効果を高めていたと考えられており、縄文時代から継続して用いられました。地面を掘り下げて床にする構造がその名称の由来となっています。
問4	答え 2 次第に大型化し、表面には当時の生活や自然を反映した装飾が施されるようになった	青銅器は、鉄器に比べると柔らかいという性質があるため、実用的な工具や武器よりも、権威を示す宝物や祭りの道具として発展しました。銅鐸は時代が下るにつれて、音を鳴らすためのものから「見るためのもの」へと大型化し、表面には狩猟や農耕の様子など、当時の社会を映し出す絵画的な装飾が見られるようになります。
問5	答え 2 中国の皇帝から地位を認められることで、自らの権威を高めて周辺の勢力を抑えようとしたため	当時の倭（日本）は多くの小国に分かれていました。奴国のような有力な国の王は、中国の皇帝に使節を送って「臣下」となる代わりに、王としての正当性を認めてもらう（冊封を受ける）ことで、国内や周辺諸国に対する権威を強化しようとした。仏教の伝来や卑弥呼の登場、モンゴルの侵攻はすべて後の時代の出来事です。
問6	答え 3 魏の後ろ盾を得ることで自らの権威を高め、国内の統治や他国との関係を有利に進めるため	卑弥呼が魏に朝貢したのは、当時アジアで強大な勢力を持っていた中国の皇帝から「王」として認められることで、国内の他の勢力に対して自分の正当性を示す目的がありました。金印や銅鏡といった贈り物は、その権威を視覚的に周囲へ誇示するための重要な道具として利用されました。
問7	答え 4 『魏志』倭人伝	3世紀の日本の社会情勢や地理、卑弥呼の統治については、中国の三国時代の歴史書「三国志」の一部である『魏志』倭人伝に記載があります。原の辻遺跡のような環濠集落の存在は、当時の倭国が多くの小国に分かれ、交易を行いながらも対立や防衛を繰り返していた社会状況を裏付けています。
問8	答え 1 地中海を囲む広大な地域を統一したローマ帝国が成立していた	日本が後漢と交渉を持っていた紀元1世紀ごろ、ヨーロッパでは地中海全域を支配するローマ帝国が全盛期を迎えていました。この時期は中国の漢王朝とローマ帝国の間で、シルクロードを通じた間接的な交流が行われていた時代でもあります。ギリシャのポリス建設は紀元前8世紀ごろ、アレクサンドロス大王の遠征は紀元前4世紀ごろの出来事です。
問9	答え 3 卑弥呼	3世紀の日本について記した中国の歴史書『魏志倭人伝』によると、卑弥呼という女王が邪馬台国を統治していたとされています。彼女は魏の皇帝から「親魏倭王」という称号や金印、多数の銅鏡などを授かり、自らの権威を国内に示すとともに、外交的な地位を確立しました。
問10	答え 2 中国の強力な武力や権威を背景に、日本国内の他の勢力に対して自らの支配の正当性を示すため。	当時の日本（倭）は多くの小国が並立しており、各勢力の首長は自らの支配力を誇示し、国内を安定させる必要がありました。先進文化を持つ中国（漢や魏など）の皇帝から「親魏倭王」のような称号や金印を授かることは、周辺勢力に対して「自分こそが正当な統治者である」と主張するための強力な裏付けとなりました。
問11	答え 1 目的：外部からの敵の侵入を防ぐため / 青銅器：銅鐸	弥生時代の遺跡に見られる「環濠集落」は、稲作が始まり蓄えができたことで発生した、集落同士の争いに備えた防御施設としての性質を持っています。奈良県の遺跡から出土した建物が描かれた土器などは、当時の生活の様子を伝える貴重な情報源です。また、この時代には大陸から青銅器の技術が伝わりましたが、特に近畿地方では鐘のような形をした「銅鐸」が作られ、豊作を祈るなどの祭りの道具として用いられました。土偶は縄文時代の呪術的な道具、はにわは古墳時代に古墳に並べられたものです。
問12	答え 3 青銅器	弥生時代には、鉄器とほぼ同時期に大陸から青銅器が伝わりました。鉄器がその硬さを活かして武器や農具、工具として実用的に使われたのに対し、青銅器は磨くと光り輝く性質などから、豊作を祈る祭り（祭祀）や村の重要な儀式に用いられる特別な道具として重宝されました。
問13	答え 4 中国の強力な王朝との結びつきを示すことで、国内における自らの権威を高めるため	当時の日本（倭）は多くの小国が対立して争っていましたが、卑弥呼はまじない（鬼道）によって国々をまとめました。彼女が魏へ使者を送ったのは、中国という大国の後ろ盾を得ることで、国内の他の勢力に対して自らの支配の正当性や優位性をアピールする目的があったと考えられています。